

いずも市議会だより



9月1日に行われた防災訓練の様子(湖陵中学校)



- 議会の動き 2
- 委員会報告 3
- 請願・陳情 7
- 一般質問 8
- 行政視察報告 18
- 採決の結果 20
- 議員紹介 22
- 議会活動・編集後記 24

9月定例会市議会 報告

平成20年度(2008)出雲市一般会計
歳入歳出決算を認定するなど、43議案を認定・可決

9月定例会市議会では、執行部から43件の議案が提案されました。「平成20年度(2008)出雲市一般会計歳入歳出決算認定について」などの決算案件20件について、適当と認め、認定しました。また、「平成21年度(2009)出雲市一般会計第3回補正予算」などの予算案件4件、「出雲市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」などの条例案件6件、「辺地に係る総合整備計画の策定について」などの単行議決案件7件、「人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて」の人事案件6件が提案され、すべての議案を原案のとおり可決しました。



画の策定について」などの単行議決案件7件、「人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて」の人事案件6件が提案され、すべての議案を原案のとおり可決しました。

平成21年度

第3回 出雲市議会(定例会) 会期日程

開会 平成21年(2009)9月10日(木)

閉会 平成21年(2009)10月9日(金)

会期30日間

9月10日(木) 本会議(開会、議案上程・説明)

14日(月) 本会議(一般質問・1日目)

15日(火) 本会議(一般質問・2日目)

16日(水) 本会議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託)

18日(金) 予算特別委員会(総括質疑)

24日(木) 総務委員会・予算特別委員会総務分科会

25日(金) 文教厚生委員会・予算特別委員会文教厚生分科会

28日(月) 環境経済委員会・予算特別委員会環境経済分科会

29日(火) 建設水道委員会・予算特別委員会建設水道分科会

10月 1日(木) 予算特別委員会(分科会長報告、質疑、採決)

2日(金) 決算特別委員会(1日目)

5日(月) 決算特別委員会(2日目)

6日(火) 決算特別委員会(3日目)

9日(金) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

常任委員会報告

出雲市特別職の給与改正を審査

総務委員会

今議会に提出され、本委員会に付託された条例案件三件、単行議決案件三件、陳情一件について審査を行いました。議第二十四号「出雲市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」について、委員

から、「特別職報酬等審議会の審議回数、審議内容などあまりにも拙速ではないか。」議員の意見を聞く機会も与えられていないことは一方的。「退職時に、高額な退職金が支払われる市の特別職と市議会議員を同様にした条例改正には疑問を感じ、

容認することができない。」

などの意見がありました。しかし、百年に一度の金融経済危機と言われ、民間の雇用情勢など非常に厳しい

今日、市の特別職、市議会議員の報酬の減額改定はいたしかたないとの判断で、原案のとおり可決しました。

陳情第五号「島根県立湖陵病院跡地の活用に向けた取り組みとその周辺環境整備についての陳情」は、現地視察を行い、陳情者から直接意見を聞き、採択すべきものとなりました。

島根県立湖陵病院跡地の視察

議第二十七号「出雲市国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、健康保険法施行令等の一部が改正されたことに伴い、国民健康保険の出産育児一時金について、本年十月一日から平成二十三年三月三十一日までの出産について四万円引き上げ三十九万円とするもので、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

請願第十一号は、昭和三十八年に建設され老朽化している第三中学校の校舎全館、屋内運動場の建設、及び校地の整備に関するものであり、審査の結果、採択すべきものとなりました。本請願をはじめ、市の教育施設の建設や認可保育所施設整備補助など、老朽化した建設物について多くの陳情、請願が議会に出されており、今後も多数の要望が見込まれることから、老朽化

教育施設の建設整備に関する請願を可決

文教厚生委員会



出雲第三中学校の請願内容を聴取

による建設にあたっては、市民の理解が得られる明確な判断規準により年次計画を作成すべきとの意見が多数の委員からありました。

農業に関する陳情二件を採択

環境経済委員会

陳情第四号「飼料米対応集出荷貯蔵施設整備に対する助成についての陳情」は、JAいずもが神西新町の西部カントリーエレベータにおいて計画している飼料米の集出荷貯蔵施設の整備について、市に対して支援を求める内容でした。

現地視察を実施し、本陳情については、採択すべきものと決定しました。

陳情第七号「出雲市農業振興施策の確立に関する陳情」は、管内農畜産物のブランド化の推進に係る支援、耕作放棄地解消対策ならびに飼料米の生産拡大、新規就農者の支援体制整備、農地利用集積円滑化団体への主体的関与と地図情報システムの整備などについて、市の支援を求める内容でした。

審査した結果、採択すべきものと決定しました。

なお、一部の委員から、国において政権交代が行われ、戸別所得補償制度を含めて、今後の農業政策の動向が不透明なため、趣旨採択とすべきとの意見がありました。



西部カントリーエレベータを視察

出雲市駅付近連続立体交差事業第二期工事の早期着工に関する請願を採択

建設水道委員会

本請願は、出雲市駅付近連続立体交差事業の第一期工事完成後、おおむね十年以内に第二期工事の方向性を見出すということで、休止をされてきました。すでに平成二十三年に十年を迎えることから第二期工事を早期に着工、完成するよう事業主体である島根県に対して働きかけを求める内容であります。

現地視察を行い、請願者並びに地域住民の皆さまから説明を受け、慎重に審査をした結果、本事業区間の大津里道路踏切は交通量が多く踏切事故も発生しており、危険な状況にあります。山陰本線と一畑電車によって地域が南北に分断されていることから、今後の大津地区のまちづくりのため、本事業の実施について島根県に対して強く働きかけを行う必要があると判断

し、採択すべきものと決定しました。

なお、一部の委員から、継続審査とすべきとの意見、また、採択とするならば議会も責任を持って取り組むべきとの意見がありました。



大津町里道路踏切を視察

特別委員会報告

予算案件四件を可決

予算特別委員会

今回、本委員会に審査の付託を受けた案件は四件で、各分科会で詳細な審査を行い、委員会では各分科会長報告・質疑・議案に対する採決を行いました。総括質疑では、地域緊急対応、安心生活創造、太陽光発電設置補助、水産物市場整備事業および九月補正予算の編成方針について審査をしました。

総務分科会では、「民間に委託できることは委託するなど市長が行財政改革に明確に方向性を示すべき」「行財政改革審議会は積極的かつ慎重に行うように」などの意見が出ました。

環境経済分科会では、浜山湧水群

の活用事業については、「事前に十分調査を行う」「管理責任を市がもつべき」などの意見が出ました。また、「特定財源の活用など予算の執行については工夫が見られるが、さらに経費の節減にも努められたい」などの意見が出ました。その他の分科会においても補正予算に関する意見が出され、四件の審査は全会一致で可決と決定しました。

執行部には、委員からの指摘・要望事項に留意され、適切な予算の執行に当たられるよう要望しました。

決算特別委員会報告

一層の行財政改革を望む

決算特別委員会

十二名の委員で構成する決算特別委員会を設置し、「平成二十年度出雲

市一般会計歳入歳出決算認定」および、各特別会計歳入歳出決算認定

の、合わせて十八件の決算案件を審査しました。

平成二十年度の決算概要は、一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、歳入が対前年度比六・二％減の千五百五十五億四千万円で、歳出が対前年度比七・三％減の千百三十二億六千万円、収支差引額は二十二億八千万円で、これから翌年度へ繰り越すべき財源十億五千万円を差し引いた実質収支額は十二億三千万円の黒字という結果でした。

実質単年度収支においても一般会計で二億円の黒字となり、前年度まで行っていた財政調整基金の取り崩しを行わずにすんだものの、一方で、一般会計と特別会計の起債残高が、昨年度よりも二十九億円増加し、千九百八十三億円に達するなど、本市の財政状況は、依然として厳しい状況です。

審査の過程において、次のような意見と来年度予算の編成にむけての意見を執行部に対し提案しました。

滞納対策については、監査委員からも指摘されていますが、一般会計と

国民健康保険などの特別会計を合わせると不納欠損額（回収をあきらめ、断念した金額）が三億一千万円、収入未済額（歳入予算に計上していたが、最終的に入ってこなかった金額）が、十六億五千万円となっており、また、昨年度より不納欠損額が大幅に増えるなど、決して看過できる状況ではありません。未収金は、市税、保育料、市営住宅家賃、給食費、国民健康保険料などあらゆる会計において発生しています。

昨春秋以降、未曾有の経済危機が続き、非正規雇用者の増大などにより、個人所得も伸びない状況の中で、厳しい家計をやりくりして、懸命に支払っている多くの市民の状況を考慮すれば、滞納者に対しては、毅然とした態度で対処すべきです。今後は、初期滞納の段階で対応を強



漢中市の放鳥トキ



映画「RAILWAYS」の撮影風景
※「BATADEN(仮題)」が、正式題名「RAILWAYS」となりました

広場の温泉スタンド整備事業や、映画「BATADEN」製作支援費などの事業については、多額の補助を執行しており、その投資効果が十分上がるように今後努力すべきとの指摘もされました。

審査の結果、今後一層の行財政改革に取り組むとともに、さらなる市民の福祉向上に寄与されるよう、効果的かつ適正な予算の執行に努めていただきたいことを申し添え、平成二十年度の一般会計、特別会計の各決算案件について、いずれも認定すべきものと決定しました。

決算特別委員会

- | | | | |
|--------------|---------------|--|---|
| 委員長
杉谷 寿之 | 副委員長
板倉 一郎 | 委員
飯塚 俊之
板垣 成二
大国 陽介
遠藤 力一 | 委員
萬代 輝正
曾田 盛雄
広戸 恭一
板倉 明弘
米山 広志
荒木 孝 |
|--------------|---------------|--|---|

化することや、専門的な収納スタッフを配置することなど、収納率の向上のために具体的な対策を、早急に議会に対して示すよう求めました。

次に、予算の執行にあたって、「トキ認養費」に関する協定書に、期間などの記載にあいまいな点があるため、協定書の見直しを検討すべきとの指摘をしました。今後、より明確で透明性のある予算の執行を求めました。

また、事業執行においては、その費用対効果を考慮し、例えば、ご縁

合併問題研究会が
発足しました

十月二日に斐川町、斐川町議会から市長、市議会議長に対して、法定合併協議会の設置の依頼がありました。

市議会では、合併問題研究会(十四名で構成)を設置して、斐川町との合併に関するさまざまな問題について、具体的に調査・研究することとしました。

十月二十六日には、第一回の会議を行い、市の執行部から斐川町との合併問題の現状について説明を受け、意見交換を行いました。

合併問題研究会

- | | | | |
|-------------|--------------|--|--|
| 会長
寺田 昌弘 | 副会長
福代 秀洋 | 委員
大国 陽介
多々納剛人
曾田 盛雄
高野 成俊 | 委員
直良 昌幸
勝部 順子
多久和康司
荒木 孝
珍部 全吾
杉谷 寿之
坂根 守
山代 裕始 |
|-------------|--------------|--|--|



請願・陳情の審議結果

【請願】

請願番号	件名	提出者	審議結果
7	2010年度（平成22年度）私立認可保育所（園）関係予算等についての請願	出雲市大津町 出雲市認可保育所（園） 理事長会 会長 原 成充 他1名	採 択 に 賛成多数
8	出雲市駅付近連続立体交差事業第二期工事の早期着工に関する請願	出雲市大津町 大津自治協会 会長 切川 幸一 他3名	採 択 に 賛成多数
9	後期高齢者医療制度をめぐる請願	松江市大正町 島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助	継続審査 に 賛成多数
10	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化の早期実現等を求める請願（意見書提出）	出雲市古志町 新日本婦人の会 出雲支部 支部長 景山 祐子	趣旨採択 に 賛成多数
11	出雲市立第三中学校校舎全館、屋内運動場の建設、及び校地の整備に関する請願	出雲市大塚町 出雲市立第三中学校建設 期成同盟会 会長 原 隆利	採 択 に 全員賛成

【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
4	飼料米対応集出荷貯蔵施設整備に対する助成についての陳情（JAいずも西部カントリーエレベーター施設整備）	出雲市今市町 いずも農業協同組合 代表理事組合長 萬代 宣雄 他1名	採 択 に 全員賛成
5	島根県立湖陵病院跡地の活用に向けた取り組みとその周辺環境整備についての陳情	出雲市湖陵町大池 湖陵町区会連合会 会長 三原 諤 他1名	採 択 に 全員賛成
6	こぐま保育園移転改築の早期実現に向けての陳情	出雲市大社町北荒木 社会福祉法人大社福社会 理事長 上野 良亮 他12名	採 択 に 賛成多数
7	出雲市農業振興施策確立に関する陳情	出雲市今市町 いずも農業協同組合 代表理事組合長 萬代 宣雄 他1名	採 択 に 全員賛成
8	出雲市立平田小学校校舎の早期改築についての陳情	出雲市平田町 平田地区自治協会 会長 村田 実 他2名	採 択 に 全員賛成
9	平田東部新中学校の木材利用の促進についての陳情	出雲市西郷町 平田建築組合 組合長 角 健次 他6名	採 択 に 全員賛成

請願・陳情

請願・陳情は、皆さんの意見・要望を市政に反映させる重要な制度です。どなたでも、市議会に直接要望することができます。

○請願（陳情）者は、年齢・国籍・住所の制限はありません。

○請願・陳情の違い

請願は、出雲市議会議員1名以上の紹介議員が必要です。陳情には、紹介議員は不要です。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

市政のここが聞きたい 一般質問

9月定例会市議会では、19人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

勝部順子 議員

- 災害対策(ゲリラ豪雨など)について
- ◎不妊治療(一般不妊治療費助成)の取り組み
- 幼い命を細菌性髄膜炎から守る、ヒブワクチン接種の公費助成を

西村 亮 議員

- ◎平田東部新中学校(仮称)の基本設計について
- 消防団員の安全対策について
- 道路、水路の除草作業について

原 隆利 議員

- ◎民主党政権の誕生、政権交代について
- 市政の透明性の確立

板倉一郎 議員

- 出雲市内の中小企業支援について
- 出雲市縁結び商品券について
- ◎新型インフルエンザへの対応について

珍部全吾 議員

- 政権交代に対する市長の所感
- ◎斐伊川・神戸川治水事業について

米山広志 議員

- ◎企業化支援施設等取得事業
- 消防庁舎の改築
- 旧JR大社線の活用
- 6月の大雨による市民生活への影響

飯塚俊之 議員

- ◎公的不動産の利活用及び統合整理の方針について

狩野正文 議員

- ◎平成18年に改正された教育基本法が掲げる「家庭教育」、「社会教育」の振興について
- 平成25年4月平田東部新中学校(仮称)開校までにすべき教育課程の編成や部活動などに係る該当学校間の検討組織の設置について
- 災害時における要介護支援ネットワークに係る情報の共有、運搬、避難所の整備について

小村吉一 議員

- 指定管理者制度について
- ◎尾原ダムの受水について

遠藤力一 議員

- ◎青少年育成について
- 政権交代時代の市政運営について

松村豪人 議員

- 産業振興について
- ◎海岸漂着ゴミについて

萬代弘美 議員

- 感染拡大と重症化を防ぐ新型インフルエンザ対策の今後について
- ◎早期発見と早期治療のためのB型・C型ウイルス性肝炎対策の強化について
- 障がいのある子どもや親の願いにこたえる地域生活支援事業の拡充について

杉谷寿之 議員

- 劇祖「出雲阿国」のブランド化について
- ◎県道大社日御碕線のバイパス道路について

長廻利行 議員

- ◎大社保育所移管先法人の選定について

木佐 宏 議員

- ◎長岡市長の不透明な職員採用を市民に代わり糾弾する
- 学校給食の安全な食器への変換と洗剤を使用しない洗浄機の導入を求める
- 平成21年度島根県知事要望の矛盾点を糾弾する

荒木 孝 議員

- 平成の大合併について伺う
- ◎斐川町との合併について
- 自治基本条例制定はいつか

大国陽介 議員

- 市長の政治姿勢について
- ◎神戸川工業用水道事業について
- 保育所の民営化について

広戸恭一 議員

- 出雲市農業の展望について見解を伺う
- ◎農業3F事業の取り組みについて

高野成俊 議員

- ◎6・7月豪雨災害、復旧の状況について
- 市内の畜産業の現状・課題について
- 来春卒業予定の高卒の求人状況について
- 新型インフルエンザの対策について

勝部順子

一日も早い、
一般不妊治療費用の助成を



問 特に高額の治療費がかかる「特定不妊治療費助成事業」が、国の今年度補正予算で拡充された。保険適用外の体外受精や、顕微授精などの治療にかかる費用、一回十数万円の助成が十五万円に引き上げられるものであり、体外受精などに望みを託す夫婦にとって朗報である。

全国の自治体では、特定不妊治療以外の、一般不妊治療費の助成も進めている。県内でも、松江市・浜田市・安来市・東出雲町・飯南町などで実施している。

出雲市でも、早急に一般不妊治療費助成に取り組み、治療による経済的な負担を少しでも減らし、治療が受けやすい環境を整備していただきたい。

健康福祉部長

ご指摘のように、保険適用のある一般不妊治療でも、治療期間が一年以上と長くなる事などから、時間的、精神的、経済的な負担があることは、十分認識しています。

県内の自治体でも助成を始めるところが増えてきています。そうした事を踏まえ、出雲市としても、一般不妊治療費の助成と、保険適用のな

い人工授精にかかる費用の助成について前向きに検討していきます。

市長

実施時期につきましてはここで確約はできませんが、できれば来年の四月から実施したいという思いで準備を進めています。



不妊治療の現状を伝える情報誌

西村 亮

平田東部新中学校（仮称）の
基本設計・校区再編に係る課題



問 校舎の木材使用促進による効果・利点はこれまでも実証されており、結露防止、温度・湿度の調整、精神安定など、癒し効果が大きく、ふんだんに使用・積極的活用が必要と考えるが所見は。

教育次長

木材の効果については、市としても十分認識しており、できる限り積極的に活用します。

問 校名変更・校区再編により、教材・各種備品・ユニフォームなど、購入にかかる保護者負担増が懸念されるが対応策は。

教育次長

部活動に必要なユニフォームなど、個人所有のものは原則個人負担と考えていますが、これも保護者の負担増にならないよう、十分検討します。

問 通学路の選定については、約一年ぐらい前から各地区で現地調査を含め、各般にわたる関係団体で協議・検討がなされてきた。特に、通学路の交通安全対策・防犯対策は

早急に整備し、開校時には万全を期すべきと思うが、いかがか。

教育次長

防犯・交通安全両面からも、生徒の通学時の安全確保は最重要課題と考えています。地元期成同盟会、PTAの皆さまと協議を重ね、通学路の指定と安全対策をまとめます。防犯灯や安全施設の設置は平成二十五年四月の開校までに整備し、その後、歩道整備・道路改良など、逐次整備する考えです。



平田東部新中学校（仮称）建設予定地

原 隆利

新政権・民主党に

どう向き合うか



問 先の衆議院選挙により民主党政権が誕生した。民主党は行政改革を謳う中に地方分権の推進、とりわけ財政による中央集権こそ、地方支配の根源であるとの認識で、補助金などをすべて廃止して、一括交付金に改める約束をしている。その方向性をかなり詳細にわたって、政権公約マニフェストに書き込んである。特に自治体運営に最も影響のある、「権限と財政」の二点について、どのような影響があるかと考えるか。

した、分権改革を実施するとされ、事務事業の権限と財源を大幅に市町村に移譲するとされています。しかし、現時点では制度の詳細設計、あるいはタイムスケジュールなどについて明確にされていません。従って明確に影響を推し量ることはできない状況です。

市長 民主党はマニフェストの中で、住民に一番身近な基礎的自治体を重視

今後の市財政全般への影響として、新政権の地方財政対策の推移を見守る必要があります。本市においても、国土の均衡ある発展と、地域住民の福祉増進を念願するものであり、現行の地方交付税制度の堅持、あるいは地方一般財源総額の確保をお願いするものです。

板倉 一郎

インフルエンザ対策を万全に



問 新型インフルエンザ対策はどのようなになっているのか伺う。

市長 組織体制としては、私を本部長とする新型インフルエンザ対策推進本

部、関係課

長で構成する幹事会、

さらに、出

雲市緊急事態総合対策

推進会議を設置しまし



市が備蓄する消毒薬とマスク

た。

感染防止対策として、マスクを七十五万枚、非接触型高性能体温計を百五十本、消毒薬、防護服などの備蓄を進めています。

医師会との連携を密にし、相談・受診・診療体制の充実・確保に努めるとともに、総合医療センターや県立中央病院において重症患者の入院医療に備え準備を進めています。

珍部 全吾

斐伊川放水路の完成が数年後に迫った今日、

改めて三点について伺う



問 上流のダム、中流の放水路、下流の大橋川の拡幅三点セットの中

で、大橋川拡幅工事だけが遅れている。これが完了しない限り、放水路への分水はしないと、昭和五十七年に確認書が交されている。人道上の立場からの配慮も必要と思われるが、どのように対処する考えか。

市長

大橋川改修の早期着工に向け働き掛けていきます。松江市長も決断され、この事業の着手に同意されました。現在は米子市の根強い反対が大きな障害になっている状況です。人道上の配慮は当然ですが、あくまでも改修事業が必要であることに変わりはありません。

問 私立学校などへの必要な機材の支援は、どのように考えているのか。

市長

消毒薬などについて、確保が困難な状況になってきており、公立、私立を問わず、同様な対応をとっていただきたいと考えています。

問

新型インフルエンザ予防接種の子どもたちに対する助成を検討する考えはないか。

市長

議員の思いはよくわかりますし、私自身も、助成支援策について今後検討します。



ほぼ完成の放水路

問 グリーンステップの活用について、いまだ具体的なものが示されていない。県に対し出雲市としてのプランを示すべきだ。


市長 具体的な計画は示されていませんが、県の財政状況が厳しいことから、民間活用も含めた、幅広い利用形態が検討されていると伺っています。市としても具体的な提案をしていく必要を感じています。

問 広大な河川敷をジョギングコースとして整備する提案をした。日本陸連からも土のコースは貴重だと聞いている。市として活用方法を考えているか。

市長 誠にお話だと思っております。実現の方向で取り組んでいきたいと思っております。

米山広志

**企業化支援施設の
予算執行は可能か**



問 平成二十年度第六回定例会で債務負担行為の補正予算、一億三千二百万円が上程され可決した。事業内容は、経済対策雇用創出、産業振興を図る上から、出雲長浜中核工業団地の土地、建物を取得し、貸工場を創設するものだ。①現時点で

の所有者との交渉状況。②土地、建物の売買についての合意内容について伺う。

産業観光部長

①三月の議会終了後、直ちに取得対象物件の所有者と契約手続きなど


について確認を行ってききました。が、社内での合意が不十分であったとして三月末に所有者から売却しない旨の申し出がありました。しばらく交渉を継続していきたくと考えています。



市が取得を計画した物件

飯塚俊之

**公的不動産の利活用と
公的施設改築・改修の判断基準**



問 合併や少子化の進展により、公的不動産の利活用の重要性が増す中で、情報の一元化と戦略的に取り組む体制・部署が必要と考える。また公的不動産をきちんと管理していくことは財政健全化に大きく寄与する。

そこで、公的不動産の利活用および管理状況と策定中の中期財政計画にどのように反映されるのか伺う。

②土地・建物の取得経費が一億一千百一十万円、不動産取得税などの相当額一千五百二十二万円、土地開発公社の必要経費として借入金利息などの八百六十二万三千元、合計一億三千二百万円です。

市長 議会で議決した予算は、重い責任があります。責任問題は結果が明確になった時点で考えます。

問 議会は議案に対し可決している。当時の部長を含めた責任について伺う。

財政部長 施設の統廃合も含め当初の設置目的を終えた施設は、売却を原則とし、転用や一部貸付を行っています。管理状況は、現在行政財産は各施設の管理主管課が、普通財産は、原則財政課管財室において管理していますが、一元管理は重要と考えています。

また中期財政計画にも密接的に関連するので、今後更に検討を重ねて

いきます。

問 公的不動産を活用する中で重要な点は、市民と共有できる「基準作り」だと考える。陳情などで公的施設の老朽化でいろいろな要望がある。これには真摯に対応しなければならぬが、苦しい財政状況下で、明確な判断基準を欠いたままでの採択は市民に行政不信を抱かせることになるのではと危惧する。

判断基準をきちんと策定しオープンにすべきと考えるが見解を伺う。

市長

財政再建を図る上では、すべての公共施設への対応が客観的で誰もが納得できる形が望ましいと考えます。



本来の役割を終えた旧庁舎

教育長

地方教育行政の組織および運営に関する法律の改正により、文化・スポーツ部門に加えて、家庭教育、社会教育を含む生涯学習部門を教育委員会所管とせず市長部局が補助執行しています。しかし、青少年教育や家庭教育といった、青少年の育成に関することについては、例えば町内会加入率が低下するなどに見られるように、家庭と地域のつながりが希薄になるといった今日的課題があります。幅広い意味での青少年育成に関する事務を、教育委員会で行うことも視野に入れ、今日に即した新たな青少年育成施策の検討時期にきています。



子育てについてグループ別学習

狩野正文

「家庭教育」、「社会教育」はどうあるべきか



問 「教育基本法」では、「地方公共

団体は、保護者に対する学習の機会および情報の提供その他の家庭教育を支援するために、必要な施策を講じるよう努めなければならない。」また、「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国および地方公共団体にお

いて奨励されなければならない。」と規定されているが、本市においては、ここでのいう家庭教育、社会教育をどのように推進されているのか。先の少年による尊属殺人といった痛ましい事案が再び起きないためにも伺う。

小村吉一

尾原ダムの水より地域の水を



問 尾原ダムの受水がいよいよ（二

十三年度より）スタートする。受水費はいくらなのか。また、この間の県との交渉の経過、見通しを伺う。

上下水道局長

他の受水団体とともに県の企業局と協議を行っています。受水費

は、ダムの建設が継続中で未確定です。来年の四月頃までには判明すると思っています。また、受水費ができるだけ安価になるよう要望もしています。

問 ダムからの本市（平田地区）の

受水量は、日量三千六百トンである。この量は、実に平田の上水

道、日量の約半分近い量である。
尾原ダムは、渇水期の水不足の解消も、その目的の一つでもある。なのに、ダム完成時にこのような大量の受水が本当に必要なのか。受水量を見直すべきと考える。

上下水道局長

受水量の見直しは建設時の参画量なので変更はできません。ただし、これを上限として必要量を受け入れるよう考えています。

問 水は人の命の源、地域の水で人は育つ。地域の水こそ大切にすべきと考える。大谷ダム（小伊津町）と後野（唐川町）の水源は、残り供用すべきと考える。



満々と水をたたえる大谷ダム（小伊津町）

上下水道局長
後野の水源については、渇水期に水不足が起きます。また、大谷ダムについては、クリプト対策という新たな設備投資が必要なので、県受水がより効率的だと考えます。

遠藤力一
これからの青少年育成の
取り組みを問う



問 本年七月七日、少年による父親殺人という痛ましい事件が出雲市で起きた。できることならもう二度とこのような不幸を起してはならない。少年は家庭裁判所から自立支援施設に送られ、そこで更生への道を進むようになった。
市当局と各学校ではこの事件をど

のようにとらえ、取り組みをなされたのか、また今後このような事件が起らないために、これからの取り組みを具体的に説明いただきたい。
教育長
大変痛ましく、衝撃的な事件であり、二度とこのようなことを起こさ

せてはならないと強く思っています。少年が発していたサインをわれわれ大人がしっかりと受けとめることができなかったことは、大人の責任が大であると考えます。家庭・学校・地域が一体となって子どもたちを見守り、育てる社会を築いていかなければならないと決意を新たにしています。
各学校では、教職員が子どもの声や表情、しぐさを事細かに観察して、子どもの発するサインをキャッチすることに努めるとともに、命の大切さについての指導を、繰り返し行いました。
「子ども・若者育成支援推進法」の趣旨を踏まえ、出雲市子ども・若者計画の策定、同協議会の設置・運営、推進本部の設置および総合相談窓口の開設を、早急に検討します。

松村豪人
海岸漂着ごみ問題の解決を



問 近年、本市の海岸線は、ペットボトルなどの生活ごみ、発泡スチロール製の漁具、漁網、ロープなどの漂着ごみが増加している。漂着する地区においては、ボランティアなどにより定期的に対応しているもの

の、問題の解決に先が見えてこない。この問題について、既に昨年の六月定例市議会でも質問を行った。その後、市において、全国市長会などを通じた継続的な要望活動が行われているが、動向はどうか。



「地域に生きる出雲市民の誓い」文を読みあげる
出雲市要保護児童対策地域協議会の堀江正俊会長

市長

ご指摘のとおり、ボランティア活動が困難な箇所や、地域の高齢化など、さまざまな問題が顕在化しています。本年七月、「海岸漂着物処理推進法」が施行され、海岸漂着物の円滑な処理を図るための対応、外交上の対応、財政上の措置などが明記されました。特に、海岸管理者（県）の責務が明記されたことは、今後の対策に向け大きく前進したと考えます。

県では、この法律に基づき、本年度、海岸漂着物対策推進協議会を立ち上げる計画です。実態把握、重点区域や対策の内容を定め、平成二十二年度および二十三年度において、環境省の「地域グリー



住民ボランティアによるごみ清掃作業

ンニューデイル基金」を財源として、漂着物の回収、撤去を行う予定です。

市長

①平成十七年度から二十年度の肝炎ウイルス検診の結果はB型肝炎が受診者七千二十九人のうち陽性者が六十二人、C型肝炎は、受診者七千四十一人のうち陽性者が百一十一人。その後の受診状況は、把握していないため、今後適切な治療を受けることを勧奨します。②肝炎検診は、すべての人が特定検診と同時に受診できるように、通年実施を検討し、積極的な広報活動に努めます。③医療費助成は、国・県に対して、柔軟な運用事業の拡大を要請します。相談窓口は、健康増進課、各支所で健康相談を受け、関係部署との調整もはかります。



市長に申し入れをするいずも肝臓友の会

萬代弘美

早期発見、治療のためのB型・C型肝炎ウイルス対策の強化を



問 ウイルス性肝炎患者のほとんどが、血液製剤・輸血・予防注射などによって感染した医原病で、感染を知らず、適切な治療も受けていない潜在的な患者が多数存在し、早期発見、早期治療が喫緊の課題となっている。また、肝炎の治療は、仕事や生活にも大きな影響が及ぶの

で、患者の命を守る様々な支援が必要である。①市内のウイルス性肝炎患者の実態 ②すべての市民がウイルス検査を受けられる検診体制など今後の取組み ③肝炎患者へのインターフェロン治療などに対する医療費助成などの『何でも相談窓口』の設置を強く求める。

杉谷寿之

県道大社日御碕線に「バイパス」道路を



問 去る六月二十二日、県道大社日御碕線第一トンネル前で、土砂崩れが起き、十一日間にわたり路線が遮断され、観光や住民生活を直撃した。年間百万人を超す観光客を集めるこの地区内での交通マヒは全県下に大きな影響を及ぼした。日御碕地区の幹線生活道路は、県道一本しかなく、地元では以前からバイパス道路の建設が悲願となっている。今

回の災害を教訓として、高尾ゆうづらラインへの接続を推進すべきだ。

市長

今回の半島西部の災害では、三カ所が遮断され地域住民に大きな不安をもたらしました。主要地方道大社日御碕線しか連絡する道路がない区間があり地区の市政フォーラムでも毎回要望がされています。高尾ゆう

ゆうラインと連絡する迂回道路が想定されますが急峻な山間地を通るルートとなり、多額の建設費が必要となります。市としては、財政状況や、この道路の緊急性を勘案し、引き続き検討していくべき課題であると認識しています。



土砂崩れの状況（県道大社日御碕線）

長廻利行

大社保育所の民営化問題



問

昨年十二月議会において、大社保育所の民営化に伴い、移管先の経験のある法人が最も望ましい姿である」と述べた上で、その基本的な考え方について質問をした。担当部長の答弁では、「選定に当たり、これまでの保育実績なども重要なポイントになるということ、またご指摘のように十分に信頼のおける法人になるように努めていきたい」と答弁されているが、結果として、全く保育実績のない法人が選定されている。

この結果について、大社町内の住民の間では、大きな疑問と違和感が



民営化が予定されている大社保育所

持たれ、住民代表による公開質問状が出されるという事態にまで発展している。こうした状況を踏まえて、今回の選定が妥当であったか伺う。

市長

行政手続的には、いろいろご指摘の問題はあったと思います。地域の

木佐 宏
長岡市長の不透明な職員採用を
市民に代わり糾弾する



問

世界が未曾有の経済不況に符合、雇用の悪化が叫ばれ、国政でも天下りの弊害が多岐にわたり報道されている。旧平田市エリアにおいて、貴殿の先輩市長からの悪慣習、派閥引き継ぎと推認される市職退職者の再雇用、再々雇用が目にする。典型的事例が、多額の退職金受領の職員を助役に選任、合併により退職、更に破格の退職金を受け取り支所長に雇用された。定年退職と思いきや三カ月後に再々雇用、このような不透明な雇用に市民の怒りが「平成の世直し人」に押し寄せている。民間では問答無用と企業側の一方的都合で、寒風吹き荒れる社会にほうり出された求職者が泣いているさなかである。談合容認やバス購入随意契約疑惑で検察庁も非常な関心

中で、いろいろな疑念などが渦巻くという状態というのは、好ましい状態ではないと思っています。一日も早く、私どもの情報もきちんと公開していきます。多くの皆さまのご理解を得られる、そういう状況の中で来年四月オープンを目指していきます。

を寄せていた人物を、元身内と特別扱いし優先厚遇、選挙論功者として不透明な再雇用は天が許さない。

市長

市職員の再雇用については、直営公共施設の市民サービスの確保を図るため、図書館、幼稚園、保育所、斎場などの管理的業務において、即戦力として雇用しています。

ご指摘の方についても、深い見識と地元住民の人望などを考慮して雇用したところです。

その他、専門的資格を必要とする、嘱託員、あるいは臨時的に雇用する職員に関しては、ハローワークやジョブ・ステーション出雲において幅広く公募し、雇用をしています。

荒木 孝

斐川町との合併を いかに進めるのか



問 斐川町では、「合併か」「単独町

政の継続か」その是非を問う出直し町長選挙が行われ、合併を公約に勝部前町長が当選された。この結果は「合併推進に斐川町民の民意が示された」と判断され、九月中にも法定合併協議会の設置について出雲市へ申し入れる意向を示されている。そこで何う。この選挙結果は合併に向かい前進したと思うか。

市長

合併の推進を公約に選挙に臨まれ、当選をされました。斐川町民の合併推進に向けた意思が示されたことを受け止めています。

問 法定合併協議会の設置の申し入れに

対しどのように対応するの

市長

この申し入れが合併協議会のスタートラインと考えています。

今後、議会をはじめ市民の皆さんのご理解をいただく必要があります。

問 斐川町長は、合併の時期は、優

遇措置のある合併特例法の期限内に行うのが望ましいとの考えだが、なぜ市長は「事実上難しい」と

の認識をもたれているのか。

市長

両市町の議会議決が必要な合併協議会の設置、国、県の諸手続を考えると合併特例法期限内の合併は厳しいと考えています。

問 出雲市民の民意を確認する手法

は住民投票か。

市長

市民の皆さんの意見が大きく分かれた時は集約の方法として考えます。

大国陽介

神戸川工業用水は、 実態に即して見直しを



問 神戸川工業用水事業は、志津見

ダムを水源とし、出雲地域に二万八千トンの工業用水を引く目的で、昭和六十二年に始まった。計画は繰り返し見直され、現在は九千三百トンを引き計画となっており、給水先は出雲インター周辺に六千五百トン、市西部に千八百トン、古志地区に千トンとなっている。現段階で、ダムからの送水施設は建設に着手していない。

今後、送水施設を建設するか否かは、出雲地域における水需要の予測にかかっている。出雲インター周辺に計画されていた新ビジネスパークの事業化が不透明な中で、計画の見直しは避けられないと考える。再検討にあたっては、給水量が先にありきではなく、慎重な需要予測と、県との率直な協議を求めるかどうか。

産業観光部長

市内企業の使用水量のアンケート調査を行っていますが、社会情勢などの変化により、現時点では明確な需要予測は立っていません。今後、客観的なデータに基づいて県と協議します。

問 最大の供給先である新ビジネスパークは、事実上、凍結となった。県との協議はどういうスタンスで臨むのか。

産業観光部長

九千三百トンありきでの協議はできず、調査結果に基づいた客観的なデータで協議していきます。



法定協議会設置の申し入れ



神戸川工業用水の水源となる志津見ダム（飯南町）

広戸恭一
農業用水路の改修整備は、
出雲市の責任で対応すべし



問 土地改良事業で整備された用水路は、出雲市の財産として登記されている。

しかし、これらの用水路は損傷で漏水がひどく、水田の畑作転換もままならない状況にある。

これらの用水路は、農家が市の助成を受けながら改修を行っているが、農業収入では採算の合わないものとなっている。出雲市の財産であれば、市の責任において改修すべきと考える。

副市長

農業用施設は受益者がありませんので、土地改良区が農業者から賦課金を徴収する中で、適宜修繕をしていくのが普通の考え方と思います。

問 この質問を行うにあたって、調査研究をしたところ、二十一年

度の春から農林水産省は、新しく農地有効利用支援整備事業を実施している。

この中身は、一箇所が二百万円以下の事業で、事業主体は市町村や土地改良区などででき、農家負担は旧出雲市内では、六・七%で済むとい

う事業である。
この制度について、農家・農業関係者に周知徹底をしていただきたい。

建設事業部長

今年度、小規模な水路改修の申し込みのあるものは、この制度を活用したいと考えています。

また、周知の方法は土地改良の機関誌にも載せていただきながら説明していきます。



修繕が必要な用水路

高野成俊

六・七月豪雨災害の対応は



問 七月十九日から発生した九州北部、中国地区を襲った豪雨により、出雲市においても出雲市南部、平田地区をはじめ農地、山林、道路、家屋への浸水被害など、甚大な被害が発生した。雨の勢いは、局所的には平成十八年の豪雨災害に匹敵するほどであった。

①現時点での六月豪雨を含めた被害総額を伺う。

②復旧工事が現在進められているが、未だ工事に着手していない現場もあり、被災地住民は不便を強いられている。工事の進捗よく状況を伺う。

建設事業部長

①六月二十二日から七月三十一日までの間、大雨災害による出雲市全域による被害総件数は、八月十七日現在で六百四十三件です。被害総額は床下や道路冠水など小規模なものを含め、約二億五千二百万円です。

②復旧工事の進捗よく状況は、国、県の補助を受けて行うものについては、現在、災害査定を受けている状況であり、遅れています。現在の応急工事を含めた市単独の事業の



豪雨のつめ跡

進捗よく状況は、市道、河川が事業費ベースの比較で四二%、農地、用水路が三三%、農道、林道が三二%となっています。未復旧箇所については、住民の皆さまに不便をかけるないように、今後、発注を早めていきます。

視察報告



環境経済委員会

七月十三日～七月十五日

とぎ
朱鷺の分散飼育地決定後の取り組みを考える



出雲市は、今年一月に環境省が行う「トキ保護増殖事業計画」にもとづき、全国で三カ所の分散飼育地の一つに決定しました。トキは、環境意識向上のシンボルのみならず、保護を通し全国に「いずもブランド」をアピールできるチャンスです。観光産業の育成にも寄与してくれるものと信じています。

トキの野生復帰に向けた取り組みが行われている佐渡市に伺い、環境政策や自然環境に配慮した農業政策について調査しました。環境政策では、『環境基本計画』が策定され、長期目標を定め、各目標達成のための施策、方針が決められていました。



佐渡市のトキ

目標実現に向けた役割について行政、市民それぞれの立場にも言及されています。農業政策では、有機農業により栽培された「朱鷺



トキ資料展示館で担当官から説明を受ける

と暮らす郷づくり」の米として新しい基準を設けた認証制度も行われていました。今後、出雲市において、トキをいかに産業振興に結び付け全国発信するのが課題といえます。

(川上幸博 記)

議会運営委員会

七月六日～七月八日

予算特別委員会での審査方法の改善について



議会運営委員会の課題は、改選前に決定した予算特別委員会の方式を当面は踏襲しながら問題点を改善していくことです。六月議会終了後、

直ちに先進的に予算委員会を取り入れている自治体の審査方法について視察しました。また、本市でも制定している市議会基本条例、議会中継システムなどについても調査を行いました。

所沢市では、議会基本

条例の中に、市長などの反問権、閉会中の文章による質問、議員間の自由討論、議員定数・議員報酬の改正議案を提出するなどの規定などを盛り込まれていました。多摩市では、予算決算特別委員会の活動を中心に据えた議会改革。秦野市では、議会議中継をインターネットを利用する方法について研修しました。早速、九月議会会期中に当面の改善点を協議し、予算特別委員会での総括質疑の質問範囲の拡大、質問時間の増加、各会派の質問持ち時間内での関連質問を認めるなど決定し、十二月議会から実施することになりました。

(板倉明弘 記)



桑島特別委員長から説明を受ける（所沢市議会）



執行部から説明を受ける総務委員会（深谷市）

総務委員会 十月十三日～十月十五日
先進地の自治基本条例の内容を調査

川崎市、平塚市、藤沢市、深谷市の行政視察を行いました。長岡市長の選挙公約である「自治基本条例」や「住民投票条例」をすでに制定し、「住民が主役のまちづくり」を進めている東京近辺の先進的取り組みをしている自治体に絞って視察を行いました。

川崎市においては住民の移動も大きく、近年では毎年二万人ずつ人口が増大し、現在は一五〇万人弱となっています。平成十五年十月に公募による市民三十名と、学識経験者四名で構成される「川崎市自治基本条例検討委員会」が設置されました。広島市の取り組みを参考にしながら六十回以上に及ぶ検討を重ね、報告書としてまとめられました。市民検討会での広範な市民の意見を踏まえて、一年二カ月後の平成十六年十二月「川崎市自治基本条例」として制定されています。

平塚市の自治基本条例は、川崎市の条例を参考に作成、制定されました。

自治基本条例はいわば自治体の憲法にあたる最高規範であり、専門家の意見を伺いながら、住民自らの手で慎重に長期にわたり検討され、制定されたものであることを改めて確認することができました。

出雲市においても、「住民が主役」の新しい時代を切り開く指針となる自治基本条例を、市民の英知を集め慎重に検討されるべきものと、認識を新たにしました。

（曾田盛雄 記）



常磐自動車道の水戸北スマートインターチェンジ（ETC出口）

総合交通対策特別委員会 十月二十日～十月二十二日
スマートインターチェンジの設置を考える

本年十一月二十八日、待望久しかった山陰自動車道、出雲・斐川間（十三・六キロメートル）が供用開始となります。当委員会では、高速道路の利便性を確保するとともに、国が推進している高速道路のフリーウェイ化（五キロメートルに一箇所）の出入り口を設ける）を実現するた

めに、スマートインターチェンジの設置に向けて、先進地の茨城県水戸市へ伺いました。サービシアを利用する「友部インター」と、本線直結型の「水戸北インター」を視察しました。ともに、一～二年間の社会実験を経て本格導入され、現在では実験当初の三倍の出入り交通量となり、費用便益費および採算性も確保されていることなど、整備事業の構想から、評価まで研修しました。

次に、名古屋鉄道の採算悪化の路線として、路線廃止問題に直面されている愛知県の御嵩町に。次いで、平成十六年に全国初の市民の手づくりによる「市民共同方式」のバス運行を成し遂げられた、京都市伏見区醍醐地区の「醍醐コミュニティバス市民の会」の役員の方々とお会いし、事業の経緯から今後の課題についてまで、苦労話を伺いながら、情報交換も交え視察研修をいたしました。

（直良昌幸 記）



採決の結果

議案番号	議案名	審議結果	賛成	反対
平成21年度	(2009) 第3回定例会			
議第20号	平成21年度(2009)出雲市一般会計第3回補正予算	可決	33	0
議第21号	平成21年度(2009)出雲市老人保健医療事業特別会計第1回補正予算	可決	33	0
議第22号	平成21年度(2009)出雲市介護保険事業特別会計第1回補正予算	可決	33	0
議第23号	平成21年度(2009)出雲市簡易水道事業特別会計第1回補正予算	可決	33	0
議第24号	出雲市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	26	7
議第25号	出雲市税条例の一部を改正する条例	可決	33	0
議第26号	出雲市手数料条例の一部を改正する条例	可決	33	0
議第27号	出雲市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	33	0
議第28号	出雲市児童クラブ条例の一部を改正する条例	可決	33	0
議第29号	出雲市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	33	0
議第30号	辺地に係る総合整備計画の策定について	可決	33	0
議第31号	出雲市過疎地域自立促進計画の変更について	可決	33	0
議第32号	公の施設の指定管理者の指定について(出雲市平田デイサービスセンター)	可決	33	0
議第33号	工事請負契約の締結について(宇竜地区漁業集落排水整備事業汚水処理施設建設工事(その3))	可決	33	0
議第34号	字の区域の廃止について	可決	33	0
議第35号	市道路線の廃止について	可決	33	0
議第36号	市道路線の認定について	可決	33	0
認第1号	平成20年度(2008)出雲市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	28	5
認第2号	平成20年度(2008)出雲市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	30	3
認第3号	平成20年度(2008)出雲市国民健康保険橋波診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第4号	平成20年度(2008)出雲市診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第5号	平成20年度(2008)出雲市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第6号	平成20年度(2008)出雲市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	29	4
認第7号	平成20年度(2008)出雲市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	30	3
認第8号	平成20年度(2008)出雲市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第9号	平成20年度(2008)出雲市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第10号	平成20年度(2008)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第11号	平成20年度(2008)出雲市浄化槽設置事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第12号	平成20年度(2008)出雲市風力発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第13号	平成20年度(2008)出雲市ご縁ネット事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第14号	平成20年度(2008)出雲市企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第15号	平成20年度(2008)出雲市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第16号	平成20年度(2008)出雲市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第17号	平成20年度(2008)出雲市高野令一育英奨学事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第18号	平成20年度(2008)出雲市廃棄物発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第19号	平成20年度(2008)出雲市水道事業会計決算認定について	認定	33	0
認第20号	平成20年度(2008)出雲市病院事業会計決算認定について	認定	33	0
諮第1号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(浅田 憲三氏)	同意	33	0
諮第2号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(糸賀 正道氏)	同意	33	0
諮第3号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(岩崎 一氏)	同意	33	0
諮第4号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(園山 恵子氏)	同意	33	0
諮第5号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(松田 周邦氏)	同意	33	0
諮第6号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(三島 幸延氏)	同意	33	0
請願第7号	2010年度(平成22年度)私立認可保育所(園)関係予算等についての請願	採択	21	1
請願第8号	出雲市駅付近連続立体交差事業第二期工事の早期着工に関する請願	採択	30	3
請願第9号	後期高齢者医療制度をめぐる請願	継続審査	29	4
請願第10号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化の早期実現等を求める請願(意見書提出)	趣旨採択	30	3
請願第11号	出雲市立第三中学校校舎全館、屋内運動場の建設、及び校地の整備に関する請願	採択	33	0
陳情第4号	飼料米対応集出荷貯蔵施設整備に対する助成についての陳情(JAいずも西部カントリーエレベーター施設整備)	採択	31	0
陳情第5号	鳥根県立湖陵病院跡地の活用に向けた取り組みとその周辺環境整備についての陳情	採択	33	0
陳情第6号	こぐま保育園移転改築の早期実現に向けての陳情	採択	31	2
陳情第7号	出雲市農業振興施策確立に関する陳情	採択	31	0
陳情第8号	出雲市立平田小学校校舎の早期改築についての陳情	採択	33	0
陳情第9号	平田東部新中学校の木材利用の促進についての陳情	採択	33	0

議員紹介 ②

三回シリーズで議員紹介をします。(原稿は議員自身が執筆しています。)



とよつたのたまた 剛人

合併後二度目の改選によって、再び議席を得る事ができました。

出雲市は合併後四年が経過いたしました。この間を振り返り議論を尽くし結論を導いて来ることができたのか、行政施策は市民ニーズからずれを起

こしてはいないのか、しっかりと検証しなくてはならない大切な節目を迎えていると感じています。

行政運営には市民の皆さまからの信頼が不可欠である事は言うまでもありませんが同時に、議会への信頼も高めていくことが必要であると痛感しています。そのためには、議

会議論が地域間バランスだけにとらわれることなく、政策議論をより重要視して行かなくてはならず、議会改革は急務であるとも言えます。

真に出雲市が一体感をもって合併効果を生み出すためにも与えられた任期を「理念」に基づき邁進してまいりたいと存じます。



ゆきひろのかわかみ 幸博

新出雲市の地域特性を生かした町づくりが

少しでも早くなりますように、合併後の四年間、取り組みさせていただきました。現在は、出雲市を取り巻く環境は、非常に厳しいものがあります。このよう

な中、今後も引き続き、安心して住める町、住んで楽しい町、住みやすい町をめざして社会基盤の整備に取り組みます。

小学校一年生から高校生までを、野外活動を通して健全な青少年を育てる社会教育活動に携わっていますが、将来、その子どもたちがどこにいても、「出雲市」を、胸を張って誇る事のできる地域をめざしています。今後とも、初心を忘れず、市民の皆さまの声を大切に

にし、地域特性の光る町づくりに取り組んでまいります。



もりお 盛雄

世界経済の同時不況の中、本市においても依然として厳しい経済環境、雇用状況が続いております。

また、国の行財政危機的な状況の下、政権選択の衆議院選挙も行われ、国政の形状も大きく変革しようとしております。私の市政に對する基本姿勢は、国・県・本市、厳しい財政状況ではあります

が、出雲市の将来を考え「市民が主役」の視線に立って、各地域の問題点を洗い出し格差は正、構造改革の取り組みも必要であると考えます。

そのためにも社会基盤の整備、教育、医療福祉の整備は着実に進め、各地域の特性、自然環境を活かしながら農・林・水産業を軸とした持続性のある産業を興し、住民本位の安

全で安心な出雲市政の発展に取り組み、頑張りたいと思います。



ひでひろのふくしろ 福代 秀洋

新市が誕生し、二期目を迎えました。過去四年間の評価を行い、現状を把握し、正すべきところは正し、守るべきところは守っていかなくてはならないと考えています。

いま、日本のよい所が失われてきていると思います。地域のコミュニティを重要視し、安心・安全な地域を守っていかなくてはならないと思います。ホームページも見てください。

http://homepage3.nifty.com/Yanagai/ メールでのご意見をお聞かせください。 tel04352@nifty.ne.jp



なるとしの高野 成俊

本年四月の改選で、旧出雲市議会から四期目を迎えました。ひきつづき、任期間よろしく願います。

アメリカ発の金融崩壊に端を発した世界的な経済恐慌により、出雲市経済も低迷している。昨今、雇用環境をはじめ大変疲弊しております。今こそ行政力を発揮し、安定・発展に努めていかなければなりません。

わたくし自身、市民の代理者として、出雲市そして市民の安全安心な暮らしの実現に向け、引き続き努力を惜しまぬ決意です。

今後ともご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



ひろと きょういち
廣戸 恭一

政治とは、国民、市民の皆さまの生活の安定と向上を進め、世界平和の追求に尽きると考えます。

それを実現させる手法は、自由経済主義・社会主義・共産主義などさまざまですが、身近な市民の方々のご意見を集約し、行政に反映させて、より一層の生活の安定と向上を目指すことだと思えます。そこで、前記に掲げたことを実現させるには、市長をはじめ行政の皆さん、自治協会の皆さまや関係機関と連携を密に取り合いながら、課題の実現に向け、市民の皆さまの英知と総合力と、わたくしの今までの経験と体力で力強く推進して行きたいと思えます。また、基盤整備をはじめ出雲市の多くの事業は、県、国の直轄事

業、または補助事業です。これらを推進するには、地元選出の県会議員・国会議員の皆さまと普段の連携が不可欠であります。信頼関係を強く保ち、取り組んでまいります。



な おら まさゆき
直良 昌幸

新市発足二期目を迎え、さらに幅広く、「公直無私」の精神で議員活動に取り組んでまいりたいと決意を新たにしています。

長引く不況と閉塞感の中で、「この時代をどう乗り切るか」を足元のテーマとして前進してまいります。

出雲市の次なる世代のために、夢と希望、そして、笑顔忘れぬように、日々努めてまいります。

「自分さえ良ければいい」の時代から、「忘己利他」の時代へと、価値感の転換を促す役割を

果たしてまいります。皆さまのご指導を心よりお願いいたします。



さかね まもる
坂根 守

百年に一度という世界的な経済不況の今、行政そして議会に求められるものは、クイックリーな対応と、若者が将来に希望が持てるようにすることです。

この四年間市議会議員として勉強したこと、経験したことを生かして、出雲市に住んで良かった、出雲市で子育てをして良かったといわれるよう頑張りたいと思います。皆さま方のご支援、ご協力をお願いします。



いたくら あきひろ
板倉 明弘

地方分権が進められ、分権改革をめぐる

論争が展開されている中、衆議院選挙の結果、政権が交代しました。

民主党のマニフェストでは、「地域主権国家」への転換が強調され、国から地方への補助金は、使途を定めぬ一括交付金に改める構想です。具体的な方針はこれから示されますが、市民生活と直結する市議会の責任は益々重くなります。

私は、より一層市民からの信頼に応え、積極的な情報公開を通じて説明責任を果たし議会活動への市民参加のもと、市政に取り組んでいく所存です。

議会運営委員長として、議員相互の自由闊達な議論を展開しながら市政の論点を明らかにし、政策立案や提言を積極的に行う議会活動ができるよう努力してまいります。



ぼんだい ひろみ
萬代 弘美

日本共産党の萬代弘美です。議会に送っていただけてから早いもので、合併前から通算すれば五期一五年目になります。市民の皆さんから寄せられる要望や声は何よりも私の活動の原動力です。一人でも多くの願いを市政に届けて、市民一人一人が大切にされる市政を目指し頑張ります。

国政では、自公政治に変わって、民主党中心の政権が生まれ、ムダな公共事業の見直しをはじめ、後期高齢者医療制度や障害者自立支援法の廃止、高校授業料の無償化など新しい政治の流れが生まれようとしています。出雲市政でも、阿国座建設をきっかけと中止をさせました。「住民が主人公」の政治を実現するためにみなさんと力を合わせます。よろしく願います。



かつべ じゅんこ
勝部 順子

新出雲市誕生後の四年間は「出雲阿国座」建設問題の是非について、終始したように思います。

市民がここまで関心を寄せられた事は、なかったのではないのでしょうか。そして、市民の強い思いが「建設中止」を決定したと感じているのは、私だけではないと思えます。

これからの四年間「一人の声を大切に」しながら、「安心して子育てができるまち」「誰にでもやさしいまち」「教育充実のまち」「地球環境にやさしいまち」「市民参加のまち」「産業振興のまち」を目指し、住んでよかったと実感できる出雲市の町づくりに取り組んでまいります。

